

作成日 2012年4月26日

改訂日 2011年4月26日

製品安全データシート (MSDS)

1. 製品及び会社情報

製品名 : メーカーコナパテシルキーII60, シルキーII120
整理番号 : QB-8006
会社名 : メーカー株式会社
住所 : 〒189-0003 東京都東村山市久米川町5-33-11
電話番号 : 042-393-2345
FAX番号 : 042-395-3253
担当部門 : 技術部
緊急連絡先 : 042-942-0095 田中正好

2. 危険有害性の要約

GHS分類 : 非該当

GHS分類に該当しない他の有害性 : 特に有害性の情報を持っていない

物理化学的危険性 : 特に危険性の情報を持っていない

PRTTR : 非該当

労働安全衛生法対象物 : 非該当

3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区分 : 混合物

化学物質名	CAS No,	含有%	備考
半水石膏 (CaSO ₄ · 1/2 H ₂ O)	26499-65-0	75%以上	
炭酸カルシウム (CaCO ₃)	471-34-1	15%以上	
シラスバルーン	—	(2種合計)	
添加剤	—	5%以下	
防カビ剤	—	0.5%以下	

4. 応急措置

目に入った場合

- ・ 粉塵が目に入った場合、速やかに清浄な水で少なくとも15分以上は洗浄、異常があれば医療処置を受ける。

皮膚に付着した場合

- ・ 皮膚が敏感な人やアレルギー体質の人はかぶれたりする可能性があるので、速やかに清浄な水で十分に洗浄し、異常があれば医療処置を受ける。

吸引した場合

- ・ 粉塵を大量に吸引した場合は、新鮮な空気のある場所に移し水または温水でうがいをさせ、異常があれば医療処置を受ける。

飲み込んだ場合

- ・ 粉塵を大量に飲み込んだ場合は、大量の水を飲ませ吐かせた後、異常があれば医療処置を受ける。

5. 火災時の措置

消化剤

- ・ 不要

特有の消化方法

- ・ このもの自体には可燃性ない。

6. 漏出時の措置

粉体であり、広範囲の漏出は無い。

粉漏れ時は、粉塵発生に注意して清掃を行う。出来れば吸引による除去が望ましい。

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

- ・ 作業の際には適切な保護具（手袋、保護マスク、エプロン、ゴーグル等）を着用し、目、皮膚への接触やガスの吸引を避ける。

環境に対する注意事項

- ・ 河川等に排出され、環境へ影響を起こさないように注意する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

- ・ 着衣、皮膚、粘膜に触れたり、眼に入らないように適切な保護具を着用する。

局所排気・全体換気

- ・ 取扱う場合は、局所排気内又は全体換気の設備のある場所で取扱う。

安全取扱い注意事項

- ・ 保護具を着用して作業を行う。
- ・ 眼に入れないこと。接触、吸入又は飲み込まないこと。
- ・ 換気の良い場所で取扱う。

保管

適切な保管条件

- ・ 常温で湿気の無いところに保管する。過積み、水平でない床での保管は荷崩れの危険があるので注意する。

8. 暴露防止及び保護措置

管理濃度：設定されていない。

許容濃度：日本産業衛生学会（1991年度版）；——

ACGIH（1995～1996年度用）；10 mg/m³

設備対策：特別な対策は必要ない。

保護具

- ・ 呼吸器の保護具：適切な呼吸器保護具を着用すること。
- ・ 手の保護具：適切な保護手袋を着用すること。
- ・ 眼の保護具：適切な保護具を着用すること。
- ・ 皮膚及び身体の保護具：作業着、安全靴

9. 物理的及び化学的性質

物理的状态

- ・ 形状：粉末状
- ・ 色：黄色～灰白色
- ・ 臭い：
- ・ pH：
- ・ 融点／凝固点：データなし
- ・ 沸点：データなし
- ・ 引火点：なし
- ・ 発火点：なし
- ・ 爆発範囲：なし
- ・ 蒸気圧：データなし
- ・ 蒸気密度（空気=1）：データなし
- ・ 比重（密度）：
- ・ 溶解度：水に分散する
- ・ オクタノール／水分配係数：データなし
- ・ 分解温度：データなし

10. 安定性及び反応性

安定性：通常の状態においては、安定。

危険有害反応可能性：通常の状態においては、反応性なし。

避けるべき条件：なし

混触危険物質：データなし

危険有害な分解生成物：データなし

11. 有害性情報

粉塵等が長時間皮膚に付着した状態では皮膚の過敏な人、アレルギー体質の人については炎症を起こす可能性がある。

12. 環境影響情報

水性環境急性有害性：情報なし

水性環境慢性有害性：情報なし

13. 廃棄上の注意

- ・ 廃塗料、容器等の廃棄物は許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約をして処理する
- ・ 容器、機械措置等を洗浄した排水等は、地面や排水溝へそのまま流さないこと。
- ・ 排水処理、焼却等により発生した廃棄物についても、廃棄物の処理及び清掃に関する法律及び関係する法規に従って処理するか委託すること。

14. 輸送上の注意

共通

- ・ 取扱い及び保管上の注意の項の記載に従うこと。
- ・ 容器の漏れの無いことを確かめ、転倒、落下、損傷がないように積み込み、荷崩れ防止を確実に行うこと。
- ・ 水濡れは厳禁。特に雨天輸送時のシートがけは勿論、走行中のトラック下部からの水の巻き上げに注意する。

国内規制

- ・ 陸上輸送：道路交通法に定めるところに従うこと。
- ・ 海上輸送：船舶安全法に定めるところに従うこと。
- ・ 航空輸送：航空法の定めるところに従うこと。

国外規制：輸出先の法規に従うこと。

15. 適用法令

廃棄物の処理及び清掃に関する法令、施行令、施工規則

16. その他の情報

- ・ 記載内容の問い合わせ先は、会社情報の項参照。
- ・ 危険性・有害性の情報は当社の最善の調査、評価に基づいていますが、必ずしも安全性を保障するものではありません。化学物質の有害性には、予見できないこともあり、取り扱いには細心の注意を払ってください。本品の適正な使用については使用者の責任に於いて行って下さい。
- ・ 他の物質と混合したり特殊な条件下で使用する時は、使用者自身が安全性の評価を実施して下さい。
- ・ 本データが第三者の工業所有権に含まれないことを保障するものではありません。
- ・ ホルムアルデヒド発散建材を定める告示の対象外の製品であり、使用面積の制限を受けませんが、日本建築仕上材工業会「ホルムアルデヒド放散等級自主表示規定」第9条によるF☆☆☆☆の登録を行っています。
- ・ 引用文献 JIS Z 7250 「化学物質等安全データシート(MSDS)－第1部：内容及び項目の順序」

(社)日本化学工業協会「製品安全データシートの作成指針」